

みくまの支援学校学校 第1回学校運営協議会

日時 令和元年5月21日(火) 10時00分～12時00分

出席者 委員8名、傍聴人6名



議題等

- 1 あいさつ 任命交付式
- 2 学校運営方針説明
- 3 質疑応答
- 4 学校運営協議会の活動計画について協議
- 5 授業見学
- 6 卒業までに身につけておいて欲しい力について協議

議論した主な内容

- 1 会長、副会長を選任。
- 2 学校長が学校運営の基本的な方針について説明し、協議、承認された。
協議の概要は次のとおり

地域との連携

地域への積極的なアピール

地域の回覧板 新聞広報 情報のオープン化、販売活動や花のプレゼントなどを地域にアピール。

地域人材の活用

農業と福祉の連携、障害のある方の就労に向けた取組。

企業と児童生徒が交流する機会を設け、実際の子どもの様子をみてもらい、就職につなげる。

防災を通じた地域への発信と交流

地域の防災訓練に参加し、障害のある子どもの実態を知ってもらう。

通学途中に災害にあった時にラジオから情報を収集するなど、スムーズに避難できる訓練を実施。



学校運営方針の説明



卒業までに身につける力

コミュニケーション能力

人に伝える力、挨拶ができる、防災の観点からも周囲の人に伝えられる方法を検討する。人と協力できる力。チームとして一体となる。

自分の得意分野を見極める

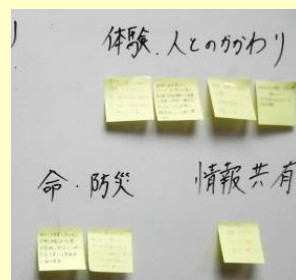
苦手なことだけでなくその子の得意な面を伸ばすことが大事。

お金を稼いで地域の中で生活できる力。

地域とのかかわり

防災の観点で命を守る非常時の対応力と繰り返しの訓練。

地域の人とどのようにかかわっていくか。地域での体験学習が大事。



協議で出た意見の抜粋

総括

今年度の学校運営協議会は、地域社会と連動した教育活動と学校運営の在り方、障害のある児童生徒が自立と社会参加を実現するために必要な力について協議を深めることになりました。企業の方からは「苦手な面だけでなく、得意な面を伸ばす」ことが大切だという意見があり、学校が地域と連携してどのような教育ができるのか議論を深めていくことが必要です。挨拶はもちろんのこと、人に伝える力も重要であり、防災の観点から考えても同様です。次回の学校運営協議会ではさらに協議を深めてより良い学校作りに活かしていければと考えています。